

# 先週の回答

「早い話が、人を人とも思わない人のことだよ」  
 「だったらその人は、人を何だと思うんですか？犬と思ったり、ドアのノブと思ったりするんですか」  
 「人間は偉くなるにつれて、そっくり返って、やがてふんぞり返ってくる。したがって天井ばかり見て人間の姿が見えなくなってくるんだ。天下を取ったような気になって、自分より偉い人間はいないと思えば、まわりの人間が虫ケラのようにしか見えなくなる。で、ふるまいが『傍若無人』『眼中無人』となるんだ、早い話が」  
 「すると偉くなるとその何とかなるんですか？」



「傍らに人無き若(ごと)しといつて、人前にもかかわらず、なんの遠慮もなく勝手なふるまいをするのが傍若無人。同じように、おごりたかぶってまわりの人を無視するのが眼中無人だ、早い話が」  
 「偉くなるのも考えものですねえ」  
 「そのとおり、偉くなると初心を忘れてしまうのが人の常。だから『人間は適度な出世がいい』が私のモットーなんだ、早い話が」  
 「つまり、ふんぞり返るほど出世しないほうがいいってことですか」  
 「そうだ、早い話が」  
 「丸つきり出世しないのがいい訳ではないんですね」  
 「何が言いたいんだ」  
 「ぼくも、適度な出世はしたほうがいい

と思います、早い話が」  
 「そのとおり」と、ママの声。

## — 気をつけよう —



